

## 2. センターとしての取り組み

- [みえ産学官研究交流フォーラム2011](#)

- [三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀 2011](#)

- [第10回三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀](#)

- [第5回三重大学先端研究シンポジウム in 大阪](#)

- [第6回三重大学先端研究シンポジウム in 東京ー三重大学クリスマスシンポジウムー](#)

- [行事報告](#)

- [出版物](#)

- [三重ティーエルオーからの報告](#)

## みえ産学官研究交流フォーラム2011

開催日：平成23年11月2日(水)、3日(祝)

場所：四日市ドーム(四日市市 霞ヶ浦緑地内)

「リーディング産業展みえ2011」併催行事

11月2日、3日、四日市ドームにおいて標記フォーラムが開催されました。県内の大学、高専、公設試験場、支援機関が一同に集まり、教育・研究や社会貢献などの取り組みや成果を展示し、地域への情報発信、さらには新しい連携先の発掘を行いました。また、県内最大の産業展である「リーディング産業展みえ」との同時開催も6年目となり、展示やセミナーなど、開催効果を高める連携も年々深まってきました。今年は企画展示エリアを設け、成果物の展示、試食試飲、アンケート調査などを実施しました。最先端の電池やLED感性照明、壁の緑化など体感できる産学官連携の成果物の展示のほか、新製品や新開発商品、三重大学産学連携商品の試食には、多くの注目が集まっていました。併設会場で開催されたセミナーも盛況で、知的財産マッチングセミナー「国立大学法人三重大学社会連携研究センターの活用について」(基調講演=狩野幹人助教・知的財産統括室)、セミナー「なぜ三重大学に日本初の地域イノベーション学研究科が設立されたのか?」(鶴岡信治教授・大学院地域イノベーション学研究科)など、多くの人が耳を傾けていました。



### みえ産学官研究交流フォーラム2011 出展者一覧

鳥羽商船高等専門学校、三重県立看護大学、近畿大学工業高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、鈴鹿医療科学大学・薬学部、四日市大学、中勢北部サイエンスシティ企業誘致促進協議会(津市)、(財)三重県産業支援センター、(株)三重ティーエルオー、NPO法人みえ治験医療ネット、みえ食発イノベーション推進会議「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」【三重県】林業研究所／工業研究所／農業研究所／水産研究所、【三重大学】大学院地域イノベーション学研究科／大学院工学研究科／中部電力との産学連携活動／伊賀研究拠点／大学院生物資源学研究科／人文学部／社会連携研究センター、【三重大学社会連携研究センターキャンパス・インキュベータ】うれし野ラボ(株)／(株)ファイナルマーケット／津市－三重大学連携・企業成長支援室

主催 / みえ産学官研究交流フォーラム実行委員会

(三重県、津市、(財)三重県産業支援センター、

中勢北部サイエンスシティ企業誘致促進協議会、(株)三重ティーエルオー、三重大学)

## 三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀 2011

主催：三重大学／共催：三重県、伊賀市、名張市、(財)伊賀市文化都市協会

開催日：平成23年7月22日(金)

場所：ヒルホテル サンピア伊賀 4階 白鳳の間

伊賀市のヒルホテルサンピア伊賀において、標記セミナーを開催しました。今回のセミナーでは、薬草、生薬の生産、品質を長年にわたり研究されている岐阜薬科大学の田中俊弘特命教授より、『三重の身近な薬草で健康を』というテーマで講演がありました。また、忍之傳に含まれる多くの流派を体得され、「現代に生きる最後の忍術家」と言われている伊賀流忍者博物館の川上仁一名誉館長より、『忍者に学ぶ』というタイトルで講演がありました。

約150名の方がご出席いただき、大変盛況のうちに終わることが出来ました。

### 開会挨拶

三重大学長

内田 淳正

伊賀市長

内保 博仁 氏

三重県健康福祉部長

山口 和夫 氏



### 講演 1

「三重の身近な薬草で健康を」

岐阜薬科大学 特命教授

田中 俊弘 氏



### 講演 2

「忍者に学ぶ」

伊賀流忍者博物館名誉館長

川上 仁一 氏



### 閉会挨拶

三重大学大学院生物資源学研究科 教授

加納 哲

(三重大学伊賀研究拠点所長)



## 第10回三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀 (併催：第11回メディカルフォーラム in 伊賀)

主催：三重大学、伊賀市／共催：三重県、名張市、(財)伊賀市文化都市協会

開催日：平成24年2月9日(木)

場所：ヒルホテル サンピア伊賀 4階 白鳳の間

伊賀市のヒルホテルサンピア伊賀において、標記セミナーを開催しました。今回のセミナーは、前半を講演会、後半を本年度の伊賀研究拠点の活動報告として開催しました。三重大学医学部附属病院・救命救急センターの武田多一准教授より、『災害時の医療と今後の対応～災害時の高齢者医療～』と題した講演があり、その後、伊賀研究拠点の活動報告と同拠点のインキュベーション入居者による報告が行われました。さらに、伊賀研究拠点の山本好男教授より『獣害の実態調査および獣害対策ワークショップの実施』と題した研究報告、上野高校理数科一年生3名によるSPP成果発表がありました。

講演では武田准教授から、東日本大震災の際に現地で行った救援活動や三重大学新病院の開院を機に始まったドクターヘリの運航に関する取り組みについて、大変興味深いお話がありました。各報告の後には、参加者から多数の質問があり、関心の高さが伺われました。

### 開会挨拶

三重大学長

内田 淳正

伊賀市長

内保 博仁 氏

三重県健康福祉部長

山口 和夫 氏

### 講演

「災害時の医療と今後の対応～災害時の高齢者医療～」

三重大学医学部附属病院・救命救急センター 准教授 武田 多一

### 報告

「平成19年から23年までの伊賀市菜の花プロジェクトの歩み」

三重大学伊賀研究拠点 社会連携特任教授 加藤 進

### インキュベーション入居者報告

「木質バイオマス燃料及び燃焼機器の開発」

アジアンリソース株式会社 高木 勝 氏・岸江 健大 氏

### 受託研究から

「獣害の実態調査および獣害対策ワークショップの実施」

三重大学社会連携研究センター伊賀研究拠点 教授 山本 好男

### 上野高校 SPP 成果発表

### 閉会挨拶

三重大学大学院生物資源学研究科 教授

加納 哲

(三重大学伊賀研究拠点所長)



(注)「三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀」は平成19年度から年2回開催しておりますが、今回で10回目の開催となりますので、今後は通算回数で表記することにしました。

## 第5回三重大学先端研究シンポジウム

in 大阪

～ 環境・自然を考える最先端研究 ～

主催：三重大学

後援：三重県、津市、四日市市、鈴鹿市、コラボ産学官三重支部、(株)三重ティーエルオー

開催日：平成23年6月24日(金)

場所：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール

大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホールで、標記シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、内田淳正学長の主催者挨拶、大阪三重県人会の村田吉優会長による来賓挨拶の後、三重大学の工学研究科と医学系研究科から、全地球的課題である「環境」に関連する最新の研究内容の発表がありました。「カーボンフリー大学を目指して」と「自然と共に生きる医療」をテーマに、本学の教員から各分野の最新の研究活動と社会貢献活動を紹介しました。さらに特別講演として、西日本電信電話株式会社 森下俊三相談役より「環境とICT-NTTグループの取り組み」と題した講演をいただきました。約170名の参加者があり、盛況のうちに終えることができました。



主催者挨拶

三重大学長 内田 淳正

来賓挨拶

大阪三重県人会 会長(株式会社サイネックス 社長) 村田 吉優 氏

講演

《カーボンフリー大学を目指して》

環境に優しい「進化する風車」 ～自然や社会の環境に対応する風力発電～

工学研究科 教授 前田 太佳夫

低酸化社会の実現を担う蓄電池 ～次世代電池としてのリチウム・空気二次電池～

工学研究科 准教授 今西 誠之

《自然と共に生きる医療》

生活習慣病に打ち勝つ食と運動とは ～健康ツーリズムの先駆けは三重から～

保健管理センター 教授 住田 安弘

環境と皮膚の病気：アトピー性皮膚炎の最新科学 ～環境と上手につきあい、アトピーを癒す～

医学系研究科 教授 水谷 仁

《特別講演》

「環境とICT-NTTグループの取り組み」

西日本電信電話株式会社 相談役 森下 俊三 氏

## 第6回三重大学先端研究シンポジウム

### 三重大学クリスマスシンポジウム

#### ～ 高齢化社会を楽しくする先端研究 ～

主催：三重大学

後援：三重県、津市、四日市市、鈴鹿市、コラボ産学官三重支部、(株)三重ティーエルオー

開催日：平成23年12月15日(木)

場所：都市センターホテル5階 オリオン

都市センターホテル(東京)で、標記シンポジウムを開催しました。今年は、「高齢化社会」に関する最新の研究内容について医療と音楽教育の観点から発表を行いました。はじめに、写真・ライフサイエンス・高機能材料・医療など幅広い分野で事業を展開している富士フイルム株式会社の常務 戸田雄三氏に「高齢化社会を優しく支えるライフサイエンス」と題して特別講演をいただきました。次いで、「高齢化社会を楽しく過ごす」をテーマとして、三重大学の最新の研究活動と社会貢献活動を紹介しました。約200名の参加者があり、盛況のうちに終えることができました。



主催者挨拶

三重大学長 内田 淳正

特別講演

高齢化社会を優しく支えるライフサイエンス ～東日本被災地支援に LOHAS 貢献する企業活動～

富士フイルム株式会社 常務執行役員 戸田 雄三 氏

生活習慣病と肥満 ～肥満はなぜ身体に良くないか?～

副学長・医学系研究科 教授 緒方 正人

認知症にならないために ～先端研究からのメッセージ～

医学系研究科 教授 富本 秀和

高齢化社会を歌って楽しく過ごすには ～先端研究が支える音楽の楽しさ～

教育学部 教授 弓場 徹

## 行事報告

### 出展行事

社会連携研究センターは、各地で行われるさまざまな展示発表会に積極的に出展・参加し、三重大学の新たな研究シーズを紹介しています。

日時	名称
2011/5/26～27	東海国立3大学新技術説明会
2011/6/15～17	スマートグリッド展 2011
2011/6/29～7/1	第10回国際バイオEXPO(バイオアカデミックフォーラム)
2011/8/1	第4回東海ニューテクノフォーラム
2011/9/7～9	フードテック 2011 - 国際食品産業展 2011 大阪
2011/9/16	三行ビジネス商談会
2011/9/21～22	イノベーション・ジャパン 2011-大学見本市
2011/11/30～12/2	アグリビジネス創出フェア 2011
2011/12/16	第4回 名古屋大学 医学・バイオ系知財フェア
2011/12/19～20	平成23年度アグリビジネスフェア 2011 in 東海
2012/2/15	ビジネスインキュベーション東海フォーラム
2012/3/21～23	CPhI Japan 2012

### 産学官連携による行事

社会連携研究センターは産学官連携による、さまざまなイベントを企画・実施しています。

日時	名称	主催
2011/4/23	東日本大震災 農業・漁業復興支援「チャリティーバザー」	JAグループ三重・JFグループ三重
2011/6/10	三重大学公開シンポジウム「三重から地域発イノベーションを考える」	三重大学
2011/6/10	三重大学特別講演会「グローバリゼーションと日本～若き世代の柔軟な知力、豊かな構想力、そしてエネルギーな行動力に期待～」	三重大学
2011/6/11	三重大学・日独友好記念企画 日独で考える「21世紀の社会保障と医療」記念シンポジウム	三重大学

2011/6～(全4回)	伊賀市民大学講座・伊賀市文化フォーラム 2011	三重大学、皇学館大学、伊賀市教育委員会
2011/6/16	化学工場向け外面腐食対策セミナー	三重大学社会連携研究センター、三重ティーエルオー
2011/6/27	「環境セミナー」～世界一の環境先進大学～三重大学の環境への取組	三重大学
2011/8/5	三重県へのリターン就職について考えるセミナー & パネルディスカッション	三重大学社会連携研究センター 地域イノベータ養成室
2011/9/5	三重大学商標ブランドシンポジウム	みえ“食発・地域イノベーション” 創造拠点、三重大学社会連携研究センター
2011/10～(全4回)	こどもわかもの育成プロジェクト 「親子で取り組む健康づくり」	尾鷲市、三重大学社会連携研究センター、みえこどもの城
2011/10/15～16	第12回ウェルネスの旅(神島・答志島)	いとしの旅舎
2011/10/28	第30回産学官交流フォーラム 鈴鹿医療科学大学・三重大学 合同産学官交流フォーラム	鈴鹿商工会議所、SUZUKA 産学官交流会 (共催)鈴鹿医療科学大学、三重大学
2011/10/29	鳥羽市文化フォーラム 2011	三重大学、鳥羽市、海の博物館
2011/11～(第1期) 2012/2～(第2期)	尾鷲セラピスト養成講座	みえメディカル研究会「地域資源活用研究会」
2011/11/5	東海圏4大学連携市民フォーラム 「大学と地域が育てるグローバル・リーダー」	三重大学、岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、国立大学協会、中日新聞社
2011/11～(全6回)	Mip 特許塾	Mip 特許塾実行委員会(三重大学、津市、三重ティーエルオー)
2011/11/11	「食と健康」を考えるシンポジウム	三重大学社会連携研究センター
2011/11/16	日本化学会東海支部「化学安全セミナー」	(共催)三重大学
2011/11～(全3回)	志摩市文化フォーラム 2011	三重大学、志摩市
2011/11/19	三重県・三重大学連携 新博物館シンポジウム	三重県、三重大学
2012/2/6	メディカルバレーフォーラム～みえライフイノベーションの創出に向けて～	三重県、三重大学、三重ティーエルオー、みえメディカルバレー推進代表者会議
2012/3/9	菜の花プロジェクト勉強会「バイオディーゼル燃料・第5回 BDF セミナー」	三重大学伊賀研究拠点、伊賀市
2012/3/15	イノベータ養成のためのサンドイッチ教育「成果報告会」	三重大学社会連携研究センター 地域イノベータ養成室



## 出版物

出版物名	発行時期	発行部数
社会連携研究センター 紹介パンフレット	平成 23 年 5 月	2,500
キャンパスインキュベータ パンフレット	平成 23 年 5 月	2,500
三重大学産学官民連携マガジン「Yui-結-」 vol.8	平成 23 年 6 月	10,000
三重大学産学官民連携マガジン「Yui-結-」 vol.9	平成 23 年 12 月	10,000
社会連携研究センター 研究報告 No.19	平成 23 年 12 月	600

## 2011年度 株式会社三重ティーエルオー活動実績

### I 営業の概況

第11期営業報告（自 2011年4月1日 至 2012年3月31日）

当年度は、当初概略計画である営業利益での黒字達成は果たしたものの、特許流通アドバイザーの派遣費用の肩代わりなど、事業仕分けなどに伴う助成制度の縮減や国の共同研究委託が昨年度で終了、などの事情もあり、以下に示しますように、経常利益は大幅に減少して2,047,470円（前期比、約740万円の減少）となりました。以下、各項目について説明します（千円単位）：

#### 1. 収入

- ① 会費収入：11,360千円。会員数の減少には歯止めがかかり、前年度に比べ会費収入は約20万円程増加しました（会員数：190）。企業・団体の種々の要望・技術ニーズに対して、掘り下げて理解したうえで、大学・研究者の支援・協力を得ながら対応する努力の効果がでてきたことによるものだと考えています。
- ② 特許関係収入(特許管理システム構築支援等)およびロイヤルティ収入：1,969千円。  
この内、ロイヤルティ収入については、その基になる特許のライセンス活動は引き続き継続していますが、第三者企業へのライセンス件数が減り、前年度より約50万円減少し、1,445千円となりました。
- ③ 大学からの業務受託収入：7,821千円。三重大学とは引き続き、産学官連携活動業務委託契約を結んでおり、それに対する受託収入です。なお、上記の業務受託の成果として、当年度での弊社の産学官連携活動による大学・研究者に向けられた共同研究、受託研究、奨学寄附金の成約は、45件で金額は約40百万円となりました。風洞実験による研究、透過型電子顕微鏡によるナノレベルの観察、液状化対策工法の開発など、大学の研究機能・技能を發揮した成果が生まれてきています。
- ④ 団体等からの事業受託収入(公共団体等からの調査事業受託に対する収入)：23,278千円。  
みえメディカル研究会、みえ研究交流サロンなどの運営事業、伊賀市BDF高度化事業、津市ふるさと雇用事業などの、前期と同じく11件の事業を三重県の県・市から事業を受託しました。
- ⑤ 技術指導・技術相談等に対する収入：3,516千円。これは企業に対する技術相談・指導・研修、大学内研究設備使用の指導などに伴う企業等からの収入です。前期より約37万円増加しました。企業の技術課題の解決に具体的に役に立つケースが増えてきております。

以上、営業収入の総額は、47,945千円（前期比6,739千円減）となりなした。

この収入総額はこれまでの事業年度では最低額になりましたが、今後はこれを起点として、業容を如何に拡大していくかが、経営の必須課題だと考えております。（前期には、この営業収入以外に約10百万円の(国からの)マッチングファンドの収入がありました)

#### 2. 支出

- ⑥ 人件費：23,099千円（アルバイト費は除く）。前年度に比べ、約8百万円増加しました。これは冒頭に述べましたように、主に国からの人材派遣費用の肩代わりによるものです。
- ⑦ 大学・研究者へのロイヤルティ等還元費：806千円となりました。

全体のロイヤルティ収入（上記②を参照）が減少するとともに、TLO所有特許ロイヤル

ティの比率が増して大学への還元比率が低下し、前期より約 85 万円減少しました。

- ⑧ 教官・研究者への研究費等の還元額：8,209 千円。前年度に比べ約 15 百万円の減少になりましたが、これはマッチングファンド共同研究事業が前年度に終了したことによる減少です。

(この額は、共同研究や奨学寄附金のように大学に直接に支払われる研究費でなく、弊社を通して大学に還元された分です)

- ⑨ 諸経費：13,619 千円。主なものは、旅費交通費、消耗品費、委託料(生協への業務委託料)3 などです。

以上、営業支出の総額は 45,733 千円(前期比 10,555 千円減)となりました。その結果、決算報告書の損益計算書に示しますように、営業利益は 2,212 千円となり、経常利益は 2,047 千円となりました。

損益決算書 (2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日 単位：円)

I. 営業損益		II. 営業外損益	
1 会費収入	11,360,000	1 営業外収益	
特許関連収入	524,308	補助金収入	142,615
大学からの業務受託収入	7,821,433	雑収入	175,179
団体等からの事業受託収入	23,278,259	2 営業外費用	
ロイヤルティ収入	1,445,174	補助金返還額	482,188
技術指導料等収入	3,516,028	経常利益	2,047,470
売上高合計	47,945,202	税引前当期純利益	2,047,470
2 販売費及び一般管理費	45,733,338	法人税・住民税等	552,700
営業利益	2,211,864	当期純利益	1,494,770

II 三重TLOの概況 (2012年7月1日現在)

(TLOの承認:2002年4月16日 文部科学大臣および経済産業大臣)

1. 株式の状況

(1)発行する株式総数 800 株 (2)発行済株式総数 260 株 (3)株主数 160 名

2. 従業員の状況

常勤管理者 1 名 (代表取締役社長)、コーディネーター 5 名 (週 5 日勤務・1 名、4 日勤務・1 名、3 日勤務・1 名、1 日勤務・2 名) 事務補助者 3 名 (パートタイマー)

3. 取締役及び監査役

取締役会長 森野 捷輔、代表取締役 圓城寺英夫、取締役 武田保雄、取締役 菅原 庸、取締役 村上一仁、取締役 國枝勝利、取締役 松井純、監査役 相可友規、監査役 田中 忍

III 国、県等からの委託事業・補助事業等

県：みえメディカル研究会の運営 (三重県健康福祉部委託)

みえ研究交流サロンの運営 (三重県農水商工部委託)

市、商工会等からの調査事業等の受託 8 件

みえ産学官研究交流フォーラム実行委員会事務局

#### Ⅳ. 特許出願及び技術移転状況

三重TLOが承認TLOとして認定された、H14年以降の三重大学の国内特許出願状況は、図1に示す通りです。

平成21年度以降は僅かながら減少傾向にありH23年度は49件でありました。

分野別特許出願状況は図2に示す通りであります、材料分野と医療分野の特許出願多くなされました。

また、特許出願件数の約70%は企業との共同出願でありました。

平成23年までの技術移転の累積件数を図3に示しましたが、H23年単年度では、権利譲渡件数は2件でありました。

TLOがH23年度に企業から得たロイヤリティー収入の総額は、約182万円と昨年度より若干減少しました。

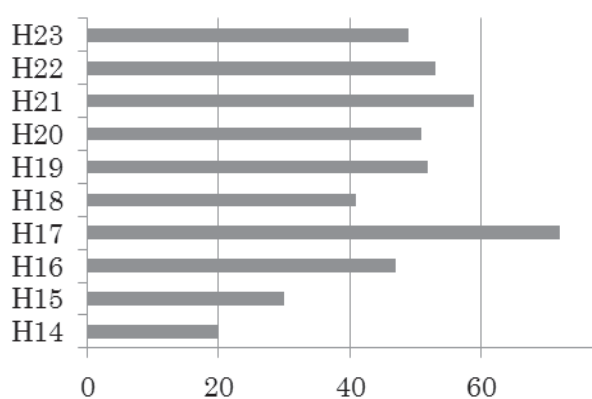


図1. 平成14年以降の特許出願状況

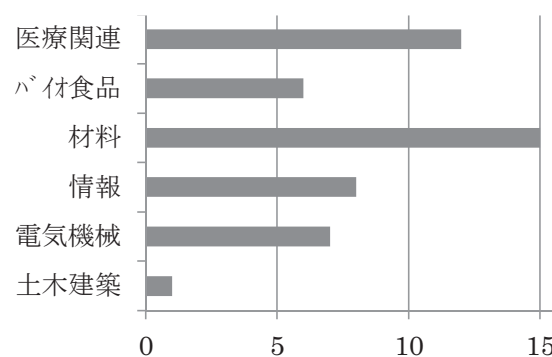


図2. 平成23年度分野別出願状況

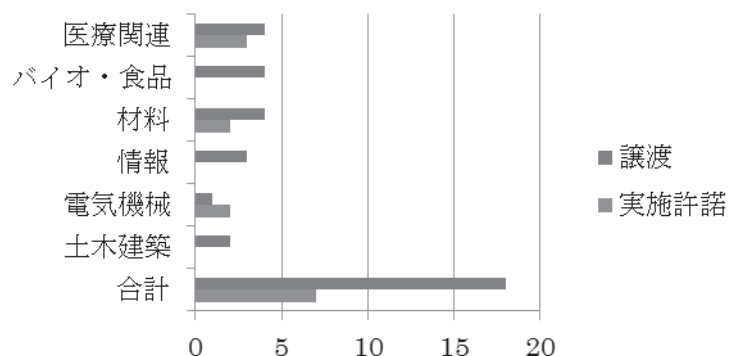


図3. 平成23年度までの技術移転状況

#### Ⅴ 行事等

- ①三重TLO交流会の開催
- ②三重TLO技術情報クラブ会報の発行
- ③三重大学生の就職・企業の学生採用支援活動
  - ・中部電力グループと地元企業合同企業説明会（三重大学大学院工学研究科、中部電力との共催）
  - ・「就活キャンパス in 三重大学」（4年学生向け地元優良企業等の合同説明会）
- ④みえ産学官研究交流フォーラム2010（三重リーディング産業展で開催）出展他  
(報告：杉山、國枝)

